

# 様々な脊椎動物の発生～その多様性と共通性～

現在、地球上にはたくさんの脊椎動物が暮らしています。これらの脊椎動物は、住んでいるところも違えば、体の大きさも、かたちも、さまざまです（多様性）。けれども、脊椎動物はもともとは皆同じ祖先から進化しました。だから、これらの動物には似ているところ（共通性）もたくさんあります。

ここには、6種類のアゴのある脊椎動物（顎口類）の生まれる前の赤ちゃん（<sup>はい</sup>胚）といいますが、その成体（大人または大人と同じ体つきの子供）を展示しています。

それぞれの胚は、今、体作りの真っ最中であ。その様子を、のぞいてみてください。

どの胚がどの動物に育つのが、わかりますか？

とってもよく似た形の胚があります。成体の形も似ているのでしょうか？

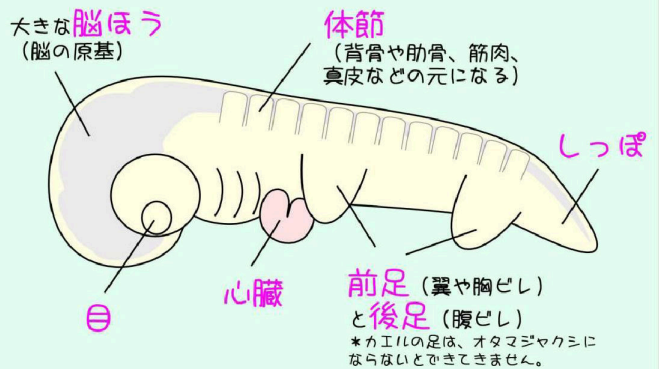
かなり形の違う胚もあります。でも、よくみてください。似ているところはありませんか？

## 成体の前足の多様性

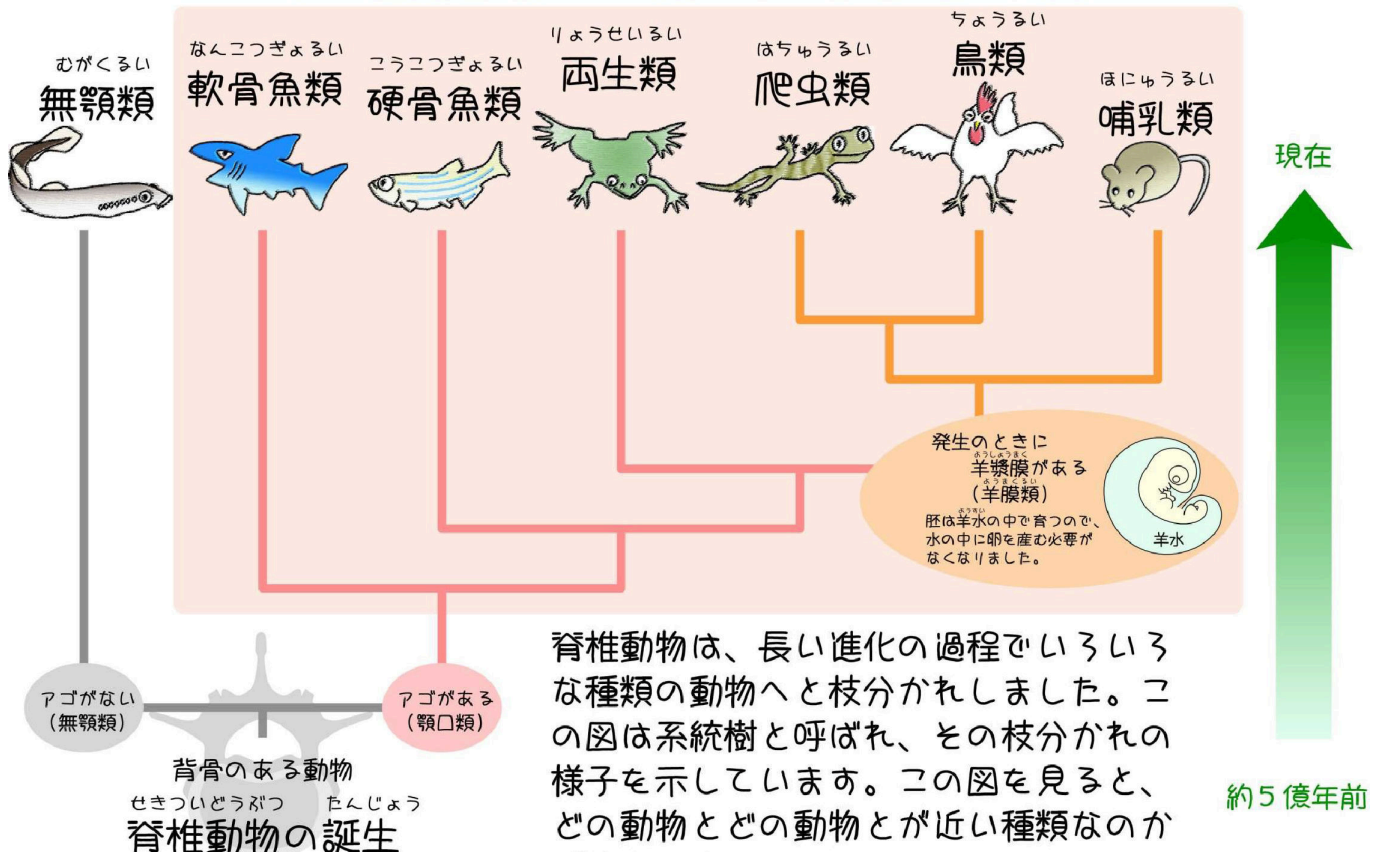


\*前足と鳥の翼と魚の胸ビレは起源が同じです。そのような器官を「相同器官」と呼びます。

## 胚の共通性



## せきついでうぶつ しんか けいとらじゅ 脊椎動物の進化 (系統樹)



脊椎動物は、長い進化の過程でいろいろな種類の動物へと枝分かれしました。この図は系統樹と呼ばれ、その枝分かれの様子を示しています。この図を見ると、どの動物とどの動物とが近い種類なのかが分かります。